

2014年6月15日 第1回がん相談員研修会 アンケート結果

(参加者総数55名のうち回答数 26名)

1. 職種

ソーシャルワーカー	9
看護師	8
理学療法士	2
心理士	4
行政職	1
事務職	1
患者(ピアサポーター)	1

2. 国立がん研究センター相談員研修受講状況

基礎研修I～指導者研修修了者	3
基礎研修I～III修了者	4
基礎研修I～II修了者	4
基礎研修Iのみ修了者	1

3. 内容は役に立ったか

とても役に立った	21
まあまあ役に立った	5
どちらでもない	0
あまり役に立たなかった	0
まったく役に立たなかった	0

4. がん相談で困っていることがあるか

ある	21
ない	1
未回答	4

5. どのようなことに困っているか

がんの治療法に関する一冊	9
がん診療可能な医療機関に関する情報	9
セカンドオピニオンに関する相談	4
がん患者の療養上の問題	8
がん患者・家族の心のケア	9
就労についての相談	4
院内との連携	4
院外との連携	5
がん患者が利用可能な社会資源についての情報	7
がん患者とのコミュニケーション	7
その他	4

【具体的に】

- ・医療についての自分の知識不足
- ・がんに対しての知識(病気の内容、治療など)にSW自体が知らない面も多い
- ・入院・転任の相談
- ・終末期に近づくに伴って生じる倫理的問題に関わっているような場合
- ・時間の確保
- ・院内での相談に対しての意識の違いがある
- ・化学療法中の介護保険の利用について申請の受け入れが困難なケース

6. 平成26年度中に開催検討の徳島県がん相談員研修会への参加希望について

希望する	14
希望しない	0
未定	1
未回答	11

【希望する内容】

- ・患者・経験者の就労支援に関すること(行政職員)
- ・ソーシャルワーカーの事例紹介、検討会(SW)(CP)
- ・顔の見える関係作り、意見交換会(SW)
- ・基礎的ながんやがん治療に対する講義(SW)
- ・医療従事者のみの小グループでの事例検討会(CP)
- ・複数の職種による意見交換や情報共有
- ・がんサロン、患者会について(各階の現状、実践報告など)
- ・心理面でのサポートについて事例検討など

7. その他ご意見、お気づきの点、ご要望など

・こんなにも相談支援に注目が集まっていることが本当に嬉しく思います。でも、私たちソーシャルワーカーがきちんと相談支援できる、対応できるよう成長していかなければ、「相談支援センター」が名前負けしてしまうと痛感しています。もっともっと成長したいですね。

・都道府県がん診療連携拠点病院として、大変ご苦労があることと思います。中心的な役割を担っていただくことを切に願います。

・これを機会に徳島にもちよくちよくお越しください。ありがとうございました。

・医療従事者と患者は互いに望ましい相談支援やケアをめざして協力していけば理想的。その隙間を埋めるべく相談支援員が機能すべきと思う。相談員がバックアップしてもらえることが、その業務がブラッシュアップされることになる。相談員を守るような仕組みや試みが必要か。顔の見える連携をしていく必要があり、拠点病院や各病院どうしが批判し合うのではなく、協力し互いに尊重しながら仕事がなされやすい環境が必要である。

・院内の他職種との連携のあり方について、より良い方法を学びたいです(主治医、病棟スタッフ等)。

・今回の研修会では、大松先生のソーシャルワーカーとしてのお仕事について知ることができて良かったです。貴重な機会をありがとうございました。

・患者さんが参加されることで、医療者の本音で語ることが難しい部分もあったと思う。できれば研修会については分けたほうが良いように思う(同様の記述が医療者および患者会やピアサポーターの方々から複数例ありました)。